

# 議会による行政評価

来年度予算に向けて  
議会がチェック!!

町では、まちづくり基本条例に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、令和2年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例に基づく決算説明資料として議会に提出しています。

議会では、「議会行政事務事業評価要綱」を定め、それぞれの事務事業について議会側の評価を示し、議会としてのチェック機能を強化するとともに、併せて翌年度の予算へ反映させることとしています。

全議員が1事業ずつ評価し、常任委員会ごとに調整した結果・評価方法は次のとおりです。

## ◎議会の行政評価結果概要

### 1. 総務教育常任委員会の内容（R 3.10.6開催）

評価は39件の事務事業で、町の最終評価は、すべて「現状にて事業を継続又は拡充」とする「A」となっています。

議会の評価結果は、

「十分評価できる」とした「◎」が1件

「概ね評価できる」とした「○」が38件となりました。

### 2. 経済福祉常任委員会の内容（R 3.10.13開催）

評価は29件の事務事業で、町の最終評価は、

「現状にて事業を継続又は拡充」とする「A」が25件

「事業の進め方の改善により継続」とする「B」が1件

「事業の規模・内容等の見直し検討」とする「C」が2件

「事業の抜本的見直しを検討」とする「D」が1件となっています。

議会の評価結果は、

「十分評価できる」とした「◎」が1件

「概ね評価できる」とした「○」が25件

「やや不足している」とした「△」が3件となりました。

## 【町の評価表】

### ○評価の分類

A = 「現状にて事業を継続または拡充」

B = 「事業の進め方の改善により継続」

C = 「事業規模・内容等の見直しの検討」

D = 「事業の抜本的見直しを検討」

## 【議会の評価方法】

議会行政事務事業評価要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した4段階評価を行い、「議会の最終評価」と総合的な説明を加えて「議会評価」としています。

「◎」 十分評価できる

「○」 概ね評価できる

「△」 やや不足している

「▲」 不足している

## 来年度の評価に向けて【両委員会共通意見】

現在の予算重視の評価方法では、適切な評価とならない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めとした評価方法全般の改善と、目標設定のハードルを上げるなどの検討を更に進められたい。

施設関連事業については、利用者数が減少した評価要因となっているが、事業効果減少の判断は、コロナ禍によるものが大きな要因となっていると推察されるので、統一的な評価対応をすべきであったと思慮する。

※次のページからは、各事務事業別の評価を常任委員会ごとに掲載しています。

# 総務教育常任委員会 所管事務事業

\* 議会の評価 ◎：十分評価 ○：概ね評価 △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価	議会の評価	
		最終評価	評価	説明
No.1 情報公開	議会だより発行、議会ホームページ運用経費ほか	A	◎	引き続き住民に興味を持って見てもらえるよう、更なる工夫を期待する。
No.2 職員研修	職員の研修計画に基づいた研修の実施	A	○	知識・接遇・専門的研修等、研修の質的向上を図り、職員の視野を広げるため全国市町村国際文化研修所等への研修参加も検討願いたい。
No.3 車両管理	公用車両の適正な管理	A	○	引き続き各車両の整備点検を進め、今後とも適切な管理を進められたい。
No.4 交通安全対策	町民に対しての交通安全啓発活動	A	○	指導員の高齢化に対処する体制づくりと、効果的な啓発の更なる工夫を図られたい。
No.5 町民運動対策 (青少年ほか)	青少年問題協議会の開催、松前地区防犯協会への助成金の交付	A	○	全町的な運動展開になっていない。犯罪・非行の防止のための情報発信に努められたい。
No.6 インターネット事業	役場庁舎、外部公共施設のインターネット環境の維持保全	A	○	引き続きセキュリティ対策に努め、インターネット利用拡大の取り組みを期待する。
No.7 ホームページ管理	ホームページを運用し町民等へ行政情報を発信する	A	○	統計資料等の基本的事項や事務事業評価の発信、行事予定等の日々の更新を図るようにされたい。
No.8 生活館等管理	町内14町内会館を適正に維持管理する	A	○	公共施設維持保全計画の基本方針に基づき、町内会館の適切な管理運営を期待する。
No.9 災害対策	防災機器の整備、防災資材確保、防災訓練等、住民の安全な生活環境を守る	A	○	個別受信機の良い利用のため継続的なメンテナンスが必要。特に、千軒地区の抜本的な雑音対策を更に検討されたい。
No.10 町内会連合会助成	福島町町内会連合会の活動を支援するため助成金を交付	A	○	少子高齢化が進行する中、住民参加を目指した住民活動の統一的な組織展開を検討されたい。
No.11 文書広報	町広報誌の発行	A	○	今後とも町民に分かりやすい広報誌の発行に努め、ちらしの集約化等を検討されたい。
No.12 ふるさと応援基金運営	ふるさと納税を募集し、寄付に対する返礼品を贈呈する	A	○	ふるさと納税の新規会員の取り込みを更に進められたい。
No.13 産業活性化サポート事業	技術取得研修や地場産品を活用した新商品の開発などに対し助成	A	○	新商品開発のため、専門の指導者や大学・関係機関等の活用についても支援されたい。
No.14 町民運動対策 (コミュニティ)	町内会連合会（コミュニティ運動事業）への助成	A	○	全町的な運動展開はさらに厳しさが増すと思慮するが、しっかりした活動を期待する。
No.15 バス待合所管理	バス待合所（5カ所）の維持管理	A	○	今後も利用者にとって快適な施設の維持管理を期待する。

# 総務教育常任委員会 所管事務事業

\* 議会の評価 ◎：十分評価 ○：概ね評価 △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価	議会の評価	
		最終評価	評価	説明
No.45 教育関係団体・大会参加助成	教職員団体への助成、児童生徒の全道・全国大会参加費用の助成	A	○	各種団体等の状況等を十分把握し、助成事務を執行されたい。
No.46 福島商業高等学校存続対策	入学時の奨励金、検定受験等の助成ほか	A	○	高校と連携の上、魅力ある学校づくりに邁進されたい。
No.47 友好町交流事業	長野県木曾町、長崎県松浦市、東京都墨田区との学生交流	A	○	三市町交流事業を推進するとともに、新たな地域との交流の展開を期待する。
No.48 A L T 招致	英語指導助手 2 名招致	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
No.49 児童生徒輸送	児童生徒の通学、学校行事、各種大会参加等への輸送	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
No.50 奨学金貸付	経済的理由により高校、大学等に就学が困難な学生への奨学資金貸付	A	○	国の動向を見ながら、給付型奨学金の検討を進められたい。
No.51 基礎学力向上支援事業	基礎学力の向上が必要な科目に臨時教員を採用し、チームティーチングを実施、小中教諭の先進地視察研修	A	○	時代の流れに応じた独自の支援策を展開、強化発展されたい。
No.52 教員住宅管理	教員の生活拠点となる住環境の整備・管理	A	○	引き続き計画的な整備を進められたい。
No.53 小学校管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の適正な管理運営</li> <li>・学校施設等の維持整備</li> <li>・I C T 教育に必要な環境の整備、関係機器の保守管理</li> <li>・学校再開に伴う新型コロナウイルス感染症対策</li> </ul>	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.54 中学校管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の適正な管理運営</li> <li>・学校施設等の維持整備</li> <li>・I C T 教育に必要な環境の整備、関係機器の保守管理</li> <li>・学校再開に伴う新型コロナウイルス感染症対策</li> </ul>	A	○	生徒が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.55 学校給食センター	児童・生徒への学校給食の充実	A	○	米等の地域食材の利用割合を上げ、メニューに工夫を加え、残さず食べられるおいしい給食の提供に努められたい。
No.56 学校給食センター施設維持管理	学校給食センターの施設・設備等の維持管理	A	○	給食の提供に支障のないよう、安心安全な維持管理に努められたい。

# 総務教育常任委員会 所管事務事業

\* 議会の評価 ◎：十分評価 ○：概ね評価 △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価	議会の評価	
		最終評価	評価	説明
No.57 社会教育総務	社会教育委員会議等活動運営、スポーツ・文化活動功績者の表彰、各種学級、講座等	A	○	町の社会教育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No.58 読書活動	図書室(福祉センター内)の運営	A	○	これからも、より町民に親しまれるよう図書管理システムの有効活用と図書司書の配置を期待する。
No.59 成人教育	各種講座開催、ブックスター事業・高齢者学級の運営、ふくしま女性の会・PTA連合会の運営費助成	A	○	異世代間の交流が図られているが、引き続き住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
No.60 青年教育	教育委員会主催の成人式、実行委員会(新成人)主催の成人祭の開催運営助成	A	○	成人式の在り方の検討を進めるとともに、青年教育の新たな展開を検討されたい。
No.61 少年教育	小中高生を対象とした青少年主張大会、吉岡小学校学校開放事業、少年対象講座の開催	A	○	通学合宿や福島学ジュニアなど、新しい事業も取り入れているが、さらに積極的な展開を期待する。
No.62 芸術・文化	芸術鑑賞事業、町民文化祭を主催する文化団体協議会への助成	A	○	新たな展開を期待する。
No.63 文化財保護	歴史講座の開催、埋蔵文化財等の保存・啓蒙・公開展示、文化財保存団体への助成	A	○	チロップ館を活用した専門的な文化財保護活動を期待する。
No.64 保健体育総務	スポーツ推進会議の開催、各種社会体育事業、各団体への運営費助成	A	○	町の保健体育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No.65 総合体育館運営	総合体育館施設の維持管理	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努められたい。
No.66 町民プール運営	町民プール施設の維持管理	A	○	町民プールの有効活用を進められたい。
No.67 ファミリースポーツ公園管理	ファミリースポーツ公園(パークゴルフ場)施設の維持管理	A	○	利用者が高齢化等で減少する中で、児童生徒等の利用を促進する事業、利用拡大の検討をされたい。
No.68 福祉センター運営	福祉センター施設の維持管理運営	A	○	音響設備の点検・整備等、施設の適切な維持管理に努められたい。

# 経済福祉常任委員会 所管事務事業

\* 議会の評価 ◎：十分評価 ○：概ね評価 △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価 最終評価	議会の評価	
			評価	説明
No.16 戦没者追悼式事業	戦没者を追悼する式典を実施	A	○	遺族会とも協議のうえ、戦争の無い平和の誓いを行う行事として、防災無線を活用した全町的な黙とうをするなど、引き続き新たな展開を期待する。
No.17 社会福祉	社会福祉団体への補助金交付(社会福祉協議会外)	A	○	社会福祉協議会の財政健全化については、介護事業を含めた自助努力を積極的に進められたい。引き続き高齢者や低所得者の生活安定のため、行政と密接に連携し社会福祉業務全般について適切に執行願いたい。
No.18 高齢者行事	敬老会の開催	A	○	全町的な行事の継続については評価する。今後とも趣向を凝らし参加者に楽しんでいただけるよう期待する。
No.19 在宅福祉事業	老人クラブ連合会への補助	A	○	老人クラブの活発な活動に期待する。
No.20 吉岡総合センター管理運営	吉岡総合センターの維持管理	A	○	利用者のニーズに合った適切な管理運営に努められたい。
No.21 学童保育	授業終了後の保育に欠ける学童の保育	A	○	保育体制を確保の上、教育委員会と連携し、特色を持った運営を期待する。
No.22 ごみ減量化対策	家庭から排出される生ごみの自家処理機購入に対する助成	C	△	可燃ごみ排出量は減少しておらず、現場の声を聞き、町民に対する生ごみの水切り徹底、無駄なごみを出さない生活様式の改善を徹底指導するよう検討されたい。 (3R：リデュース、リユース、リサイクルの周知徹底)
No.23 保育所	福島保育所(定員60名)の運営	A	○	教育委員会と連携し特色のある認定こども園の運営を期待する。年齢バランスを考えた正職員の採用を検討願いたい。
No.24 社会福祉総務	社会福祉団体活動支援、温泉優待券配布、寝たきり老人介護者手当支給	A	○	寝たきり老人等在宅介護手当の増額を検討願いたい。
No.25 重度心身障がい者等タクシー料金助成事業	病院等へ通院するためのタクシー料金の一部を助成	A	○	利用率低迷の要因をしっかりと分析し、適切に執行すること。
No.26 老人福祉	希望者に対し、緊急通報システム機器を設置する	A	○	検証を行い、高齢者に対する利便性のある事業として一本化することも必要ではないか。
No.27 健康づくり推進	健康づくり推進員の配置、健康フェスティバルの開催等による町民の健康増進	A	○	健康づくり推進員と保健師が連携しながら、日常生活の中で健康に対する意識の醸成を促す活動に力点を置かれたい。
No.28 医療対策(保健衛生総務)	在宅当番医制運営事業への負担金、保健師等に対する修学資金貸付	A	○	毎年度貸付実績がない状況であることから、その要因を分析し、今後の対応を検討すべきである。
No.29 医療対策(医療対策)	子ども医療等に係る福祉医療システムの管理、日曜当番医制による町民健康保持	A	○	広域的な取り組みを進められたい。
No.30 老人保健	健康教育、リハビリ教室等を実施	A	○	町立診療所と連携した在宅リハビリ(作業療法士等の配置)を充実させるための検討をされたい。

# 経済福祉常任委員会 所管事務事業

\* 議会の評価 ◎：十分評価 ○：概ね評価 △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価	議会の評価	
		最終評価	評価	説明
No.31 多面的機能支払交付金事業	地域活動組織（農業者による任意団体）への活動経費の交付	A	○	地域活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No.32 活性化センター管理運営	「あづま〜る」施設の維持管理	A	○	地域生活文化の活動拠点としての利用と、食や歴史等の町内外への情報発信を期待する。
No.33 熊等による被害対策	熊等の有害鳥獣の被害防止と危険個所の巡回	A	○	ハンター後継者の確保に努力し、捕獲後の処理負担を軽減するための協力体制の構築と助成金の増額を検討すべき。
No.34 利子補給事業	漁業者への貸付に対する融資機関への利子補給	A	○	関係機関と連携し、円滑に事務を進められたい。
No.35 水産加工振興協議会補助	協議会の運営補助	A	○	原料不足と価格高騰のため、当該補助の検証をしながら、基幹産業に対する強力な振興策を検討願いたい。
No.36 水産多面的機能発揮対策事業	水産業の多面的機能を発揮させるために活動している組織への支援（吉岡藻場保全会・豊かな海づくりの会）	A	○	活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No.37 漁村環境改善総合センター運営	福島・吉岡漁村環境改善総合センターの管理運営	C	△	福島については、改修し現状維持に努められたい。吉岡については、老朽化により使用休止していることから評価対象から除外すべきである。
No.38 労働者支援	雇用保険の手続き、職業紹介等の労働支援	A	○	職業紹介等の効果的な事業の改善、新規事業の工夫を期待する。
No.39 地場産業開発研究事業	地場産業開発研究会への補助金の交付	D	△	商品開発等に対する新たな体制整備を急ぐべき。（地場産業開発研究会は、令和3年度で解散予定）
No.40 観光振興	観光協会への補助、広域的観光協議会との連携事業、プロモーション・物販イベント等でのPR事業	A	○	当町の観光事業の実態として、観光協会やまちづくり工房の単独での体制確保は困難であり、早期に町の方針を示し、体制充実を図るよう指導・助言されたい。
No.41 横綱記念館管理運営	千代の山・千代の富士記念館の管理運営	A	○	貴重な資料を無駄にすることなく両横綱の偉業を顕彰し、大切に引き継いでいくことを期待する。購買グッズの充実についても検討されたい。
No.42 特産品センター管理	道の駅内にある特産品センターの管理運営	B	○	道の駅としての評価が低い現状を踏まえ、内容充実を図るための再検討が必要である。
No.43 青函トンネル記念館管理運営	青函トンネル記念館の管理運営	A	○	情報発信が不足している。イベントも含めて積極的な施設の利活用を考え、第2青函トンネル構想などの企画展示に積極的に取り組まれたい。
No.44 街灯料助成事業	街路灯設置・街灯料の助成	A	◎	他の公共施設等のLED化も期待する。